

プレゼンテーション+公開シンポジウム オンライン開催

ミュージアム

の

誕生と成長

2021年 2月20日(土)

プレゼンテーション (研究報告) 13時00分～14時20分

「ちいさな図書館・博物館を手づくりする — 庭先でマイパブリックの実践」

……………塚田 真理子 氏 (Little Free Library & Museum ちいさな帆)

「服部正夷の絵と生涯 — 美術の北大を生きて」

……………中島 香矢 氏 (北海道美術史研究)

「知里真志保と北大 — 距離をこえて行ったアイヌ語研究 —」

……………田川 衛 氏 (北海道大学学芸員リカレント教育プログラム受講生)

シンポジウム 「ミュージアムの誕生と成長」 14時40分～16時20分

誕生からまだ間もない、若いミュージアムを動かすキュレーターたちに聴く。ミュージアムの現在地とこれから。

パネリスト

佐々木 蓉子 氏 (弘前れんが倉庫美術館)

蝦名 未来 氏 (だて歴史文化ミュージアム)

金澤 聡美 氏 (小樽芸術村)

樋泉 綾子 氏 (札幌文化芸術交流センター SCARTS)

コメンテーター

佐々木 亨 氏 (北海道大学大学院教授)

田中 梨枝子 氏 (京都芸術大学准教授)

司会: 今村 信隆 (北海道大学)

オンライン開催です。
申込方法は裏面を
ご覧ください!

主催: 北海道大学大学院文学研究院

共催: 北海道大学総合博物館、同工学研究院、同アイヌ・先住民研究センター、同CoSTEP、同TERRACE

助成: 文化庁 令和2年度大学における文化芸術推進事業

「ミュージアム学芸員の企画展制作〈立案・運営・評価〉スキル養成深化プログラム」

学藝
リカプロ

Museum Curators' Recurrent
Education Program: Planning,
Management, Evaluation

プレゼンテーション（研究報告）

13時00分～14時20分

- 「ちいさな図書館・博物館を手づくりする
— 庭先でマイブリックの実践 —
……………塚田 真理子 氏（Little Free Library & Museum ちいさな帆）
- 「服部正夷の絵と生涯 — 美術の北大を生きて」
……………中島 香矢 氏（北海道美術史研究）
- 「知里真志保と北大 — 距離をこえて行ったアイヌ語研究 —」
……………田川 衛 氏（北海道大学学芸員リカレント教育プログラム受講生）

北海道大学学芸員リカレント教育プログラムに参加する受講者が、自身の研究成果や活動について報告します。地域文化に実践的に携わる方々のプレゼンテーションは、通常の学会発表などとは一味違う、社会人としての学びについても教えてくれそうです。



About us

北海道大学 学芸員
リカレント教育プログラムとは

北海道大学学芸員リカレント教育プログラム（通称、「学芸リカプロ」）は、ミュージアムに勤務する学芸員や、地域の文化・芸術に携わる方たちを対象に、学びの機会を提供するプログラムです。文化庁「大学における文化芸術推進授業」に採択され、2018年度から3年間にわたって、講義や実習、一般公開のシンポジウムなどを開催してきました。最終年度にあたる今年度は、コロナ禍のなか、オンライン実習でつくった企画展「Distance #学びと距離の物語」（北海道大学総合博物館）や、オンラインイベントである全3回の「ミュージアムグッズサミット」などを展開。今回の成果報告会とシンポジウム「ミュージアムの誕生と成長」が3年間の活動を締めくくる、最後の催しです。

学藝
リカプロ

Museum Curators' Recurrent
Education Program: Planning,
Management, Evaluation

ミュージアム の 誕生と成長

— 公開シンポジウム —

- 小樽芸術村
2016-
- 札幌文化芸術交流センター
SCARTS
2018-
- だて歴史文化
ミュージアム
2019-
- 弘前れんが倉庫美術館
2020-

すでに長い伝統をもつミュージアムがある一方で、新たに設立され、今まさに成長をはじめたミュージアムがある。本シンポジウムでは誕生からまだ間もないミュージアムを現場で動かしている学芸員・キュレーターに登壇していただき、成長するミュージアムのダイナミズムや可能性を考える。社会の課題に向き合い、地域とコミュニケーションを図り、館の方向性を模索していく数々の事例から、力強く変化を続けるミュージアムの未来がみえてくるだろう。

- ・ オンライン形式で開催いたします。
- ・ 誰でも無料でご参加いただけます。
- ・ 参加を希望される方は、2月19日（金）17時までに下記までご連絡ください。参加URLをお送りします。

no_imamura@let.hokudai.ac.jp
(学芸リカプロ事務局・今村)

誕生からまだ間もない、
若いミュージアムを動かすキュレーターに聴く。
ミュージアムの現在地とこれから。

パネリスト



Kanazawa, Satomi
金澤 聡美 (小樽芸術村)



Hiizumi, Ayako
樋泉 綾子
(札幌文化芸術交流センター SCARTS)



Ebina, Miki
蝦名 未来
(だて歴史文化ミュージアム)



Sasaki, Yoko
佐々木 蓉子
(弘前れんが倉庫美術館)

コメンテーター



Sasaki, Toru
佐々木 亨
(北海道大学大学院教授)



Tanaka, Rieko
田中 梨枝子
(京都芸術大学准教授)

司会：今村 信隆（北海道大学大学院特任准教授）

お問い合わせ | 北海道大学学芸員リカレント教育プログラム事務局
電話 011-706-3912 | メール no_imamura@let.hokudai.ac.jp